

第2回 プラットフォームエコノミクス研究会 議事要旨

日時：令和3年7月20日（火）9時00分～11時00分

場所：オンライン開催

出席者

メンバー：依田委員、市橋委員、大木委員、黒田委員、善如委員、土居委員

オブザーバー：関係省庁

議事概要

1. 論文“Addictive Platforms”の報告

- ・ 市橋委員より、論文“Addictive Platforms”についての報告が行われた。
- ・ 報告内容の概要は以下のとおり。
 - プラットフォームの広告収入はユーザーがサービスに費やす時間に応じて増える。テック企業はユーザーが長時間使用したくなるような中毒的なサービスを提供し、消費者にとって悪影響となる過剰使用をもたらしているのではないか。
 - ✓ 結果1：プラットフォームが消費者の効用水準を引き下げるが、限界効用を引き上げるような“addictiveness”を設定して、消費者の注意を引き付けるような場合の市場競争を特徴づけた。
 - ✓ 結果2：プラットフォームは競争に直面すると、競争相手から消費者を引き付けるためにより高い“addictiveness”を設定する誘因を持つため、結果として消費者余剰が低下する。
 - ✓ 結果3：プラットフォームのサービスを有料化することで“addictiveness”は低下するが、消費者余剰への影響は曖昧である。
- ・ 委員から、①消費者が利用するプラットフォームを制限するコミットメントをできる場合はどうなるか、②品質競争との関係はどのようなものか、③品質と注目のトレードオフは実証的に示されているのか等の指摘があり、意見交換を行った。

2. デジタル広告分野の取引実態に関する最終報告書（概要）

- ・ 公正取引委員会 琴野氏から、デジタル広告分野の取引実態に関する最終報告書の概要について説明が行われた。
- ・ ①デジタル広告と従来型の広告との違い、②事業者によるプライバシー保護の取り組みにかかる消費者保護の観点や競争政策の観点、③自社優遇やLast Lookを行うインセンティブ等について意見交換を行った。

お問合せ先

商務情報政策 情報経済課 デジタル取引環境整備室

電話：03-3501-0397

FAX：03-3501-6639